

續本邦噴火概表

和達清夫・益田クニモ

震災豫防調査會報告第86號（大正7年）所載の本邦噴火概表（9頁～45頁）に續くべき噴火表である。即ち大正6年以降大正12年に到る期間に於ける我が國の火山活動の概略を示すもので、大正13年以後今日に到る分は、氣象要覽に各年毎に之と同じ噴火表が掲載してある故、此處には單に噴火の月日と火山名を掲げる程度に止めてある。

	噴火の年月日	噴火山名	記 事
1	大正6年 4月30日	椽前山	14h 55m 爆發、熔岩山の南麓に火口を生ず。舊火口を併せ四ヶ所より噴煙す。規模小なり。
2	5月12日	椽前山	10h 20m 爆發、熔岩山の頂及び山麓、及び舊火口併せ四ヶ所より噴煙し、札幌よりも之を認む。程度は前回より甚しけれど被害なし。
3	大正7年 1月16日	阿蘇山	23h 24m, 2分間鳴動、降灰あり。翌17日も噴煙旺盛にして數年來なき活動なり。
4	大正8年 3月14日	淺間山 ⁽¹⁾	5h 37m~40m, 爆發噴煙同時に小區域地震1回起る。降灰區域東南東方向に略々一直線上にあり。火山礫12~13里に達し、降灰は銚子に及ぶ。
5	4月3日	阿蘇山 ⁽²⁾	突然噴煙、7時頃中嶽方面に大爆聲を發す。家屋動搖甚しく、黒煙二ヶ所より出づ。以後3日間霾 ⁽³⁾ を連續降下す。
6	6月17日	駒ヶ嶽 (北海道渡島)	5h 22m 頃噴煙し、砂原方面に多少降灰す。爆發的噴煙に非ず。
7	8月28日	淺間山	17h 1m, 前橋測候所にて微弱なる爆音と噴煙を認む。日没頃迄繼續せる如し。
8	9月27日 28日	阿蘇山?	17h~18h, 熊本に於て2分の灰粉を積む。東方山岳見えざれども阿蘇山の活動と認む。18日も同様なり。
9	11月10日 11日 12日	阿蘇山?	熊本に降灰あり、阿蘇山の活動と認む。
10	11月23日 26日	阿蘇山	噴煙甚しきを望む。
11	12月23日	阿蘇山	16h 前後中岳方面より鳴動を聞き、2ヶ所より噴煙、中間より黒煙昇る。鳴動斷續して5~6日間に及ぶ。噴煙の割に活動甚からず。

(1) 氣象集誌第38年第4號の論說「淺間山の噴煙」参照。

(2) " 第38年第5號「阿蘇山の噴煙」

(3) 霾(バイ)とは土砂の降るのを云ふ。阿蘇地方ではヨナと呼ぶ。

	噴火の年月日	噴火山名	記 事
12	大正9年 4月23日	阿 蘇 山	再び噴煙増大を見る。
13	7月17日	椴 前 山	18 h 20 m, 噴煙, 震動を開始し, 5 分後震動は止みたれども噴煙尙盛んにして, 僅少の降灰を見る。
14	12月10日	浅 間 山	12 h 頃, 約 20 分間爆發繼續す。爆音小なれども浦和, 結城岐阜縣にて聞く。降灰區域は東方に擴がる。第1回の爆發。
15	12月14日	浅 間 山	5 h 頃 20~30 分間繼續す。電光を伴ひしことを各地にて目撃せり。火口より東方一里に存在する住家二棟は燒石の爲全燒す。第2回の爆發。
16	12月18日 19日 20日 21日	浅 間 山	22 h 頃, 前 2 回に比して小なり。降灰は北風に乘じて南下す。鳴動響は伏木, 福島縣の1部に於ても感ず。19日に多少の活動あり, 澁川附近に降灰, 箱根にも降灰ありしと。20日 21 日各と多少の活動ありたり。第3回の爆發とす。
17	12月22日	浅 間 山	15 h 15 m 頃, 16 h 頃, 17 h 30 m 頃, 小爆發す。19 h 頃強爆發 3~4 分に互る。降灰北々東に狭く伸びる。鳴響區域小にして前回に似たり。第4回の爆發とす。
18	12月26日	浅 間 山	10 h 40 m 頃, 數回繰返して 15 h に及ぶ。鳴響を開きたる區域前回に似たり。降灰は火口より東に伸び、區域小なりしが、伊豆の一部にも及べり。第5回の爆發となす。
19	12月29日	浅 間 山	小活動あり。
20	大正10年 1月 4日	浅 間 山	12 月以來續きて活動せしが、此の日 19 h 50 m 頃日光附近に數回空氣振動を感ず。
21	1月16日 17日	浅 間 山	兩日亦爆音を聞く。本月中尾附近局發性地震多かりしが、恐らく此の振動を感ぜしものならん。
22	1月18日	浅 間 山	10 h 頃第1回の爆發をなし、正午頃大爆發をなす。茨城と千葉との縣界に夕刻より降灰を見る。23 h 更に爆發、輕井澤附近に降灰あり。
23	1月24日	浅 間 山	6 h 30 m 頃爆發あり。
24	5月16日	浅 間 山	8 h 35 m 頃爆發あり、噴煙南方になびく。群馬縣にて音響のみを、長野縣にて降灰及び鳴響を聞き認む。浅間山観測所の報告に依れば、其の後 10 h 6 m, 11 h 25 m, 16 h 38 m, 17 h 44 m に噴煙、其の中第 2, 第 3 は多量の黒煙噴騰す。
25	5月24日	浅 間 山	6 h 34 m, 長野測候所にて爆音に伴ふ地動を微動計にて観測せり。
26	5月25日	浅 間 山	1 h 24 m, 上に同じ。16 日以後爆發を續げしものゝ如し。
27	6月 4日	浅 間 山	17 h 10 m, 長野, 群馬, 滋賀縣及び其の附近にて音響を聞く。降灰は前橋附近より宇都宮水戸を連る地方。
28	6月21日	浅 間 山	17 h 頃より約 3 回, 前橋管内に降灰及音響を認む。

	噴火の年月日	噴火山名	記 事
29	大正11年 1月9日	淺 間 山	8 h 44 m 爆發, 8 h 50 m 頃山麓小諸町地方に小局發性地震あり。9 h 28 m, 9 h 56 m 共に爆發。
30	1月14日	淺 間 山	12 h 9 m 大爆音と共に噴火, 爆音及び空氣振動を認めたる地域は半徑 270~280 軒に及ぶ。降灰地域は狭長く水戸に及ぶ。其他甲斐上九一色附近にもあり, 12 h 56 m にも亦爆發す。
31	1月20日	淺 間 山	14 h 16 m 爆音す。14 日より勢力小なり。降灰は群馬白井にありしのみ。
32	1月26日	諏訪瀬島	19 h 頃噴火震動す。人畜, 農作共に被害なし。
33	2月5日	淺 間 山	19 h 11 m 爆發す。富山附近に多少の灰降る。
34	3月11日	淺 間 山	21 h 10 m 爆發す。此の頃活動繼續するも, 之が就中稍々強し。爆音空氣振動は大部分東方にて聞え, 降灰も亦東方なり。
35	3月16日	淺 間 山	7 h 10 m, 8 h 39 m 噴煙, 鳴響を聞かず。10 h より降砂, 27 m にして止む。10 h 45 m より降灰, 12 h 20 m 止る。量 1 歩 28 匁の割合なり。
36	3月17日	淺 間 山	8 h 55 m 噴煙, 澁川町は噴煙天を覆ふ, 降灰はなし。
37	3月18日	淺 間 山	煙霧發生して淺間山は見え。11 h 33 m 爆發の小鳴動を聞く。43 m 再び小鳴動をなし, 12 h 40 m 頃より降灰あり, 13 h 25 m 止む。降灰量 1 歩面 4.8 匁の割合なり。管内一般に降灰燥音を認む。15 h 45 m 爆發小鳴動をなし, 同 55 m 噴煙し 17 h 20 m 止む。降灰量 1 歩面 2.8 匁なり。
38	3月19日	淺 間 山	早朝噴煙あれど爆發無き爲開始時刻不明なり。6 h 20 m 頃青空を認む。5 h 27 m 砂灰を降らし 6 h 20 m 止む。この量 1 歩面 22 匁に及ぶ。9 h 30 m 異様音響あれど, 山に別段異狀なし。11 h 45 m 噴煙多量なれど爆音無し。12 h 5 m 頃日光見ゆ。12 h 19 m より降砂し同 53 m 止む 1 歩面 2.4 匁なり。13 h 40 m 碓氷郡方面に降灰の如し。燥音なし。宇都宮管内音響空振を感ず。7 h 30 m より約 1 時間日立に降灰す。沼津管内小山町に微震の如く感ぜり。
39	3月19日	燒 岳	午後多少の噴煙をなせしものなるべし?
40	4月25日 26日	淺 間 山	17 h 33 m 突然雷鳴の如き鳴響 30 秒續き, 爆發黑煙多量なり。翌日 6 h 白煙を見たるも異狀なく, 降灰もなし。
41	12月8日 9日	三 原 山	8 日より活動を始め, 音響と共に熔岩を噴出す。翌 9 日 12 h 34 m 頃噴火あり, 鳴響銚子にて觀測せり。被害なし。
42	大正12年 1月14日	阿 蘇 山	14 日頃より優勢なる活動をなす。8 年のそれより稍々弱し。今回の噴出は第 3 火口より生ず。

	噴火の年月日	噴火山名	・ 記 事
43	1月16日 22日	三原山	一時休止中の所、再び開始し火焰山頂の天を焦す。22日に爆音甚し。21日實地調査の結果は2秒時に約3回の爆音を聞き、熔岩數十丈に吹上げたを見る。此頃連日此の状態を繼續す。勢力は12月のものより甚し。
44	1月26日	三原山	一層強き爆音を發す。山麓家屋の戸障子は強度の震動をなす。夜間天頂一帶に紅空す。
45	1月28日 29日	三原山	27日3h頃より休止せしが本日20h頃又爆音を發す。26日夜間と同状態なり。29日8h頃より約連續的に熔岩を噴出し鳴動す。20h30m頃4,5回強き鳴動あり。30日朝來連續的に戸障子震動す。
46	2月21日	椴前山	6h55m頃爆發噴火す。最初音響と同時に微震を感ず。黒煙猛烈なり。被害なし。噴煙は明治42年3月30日の時より猛烈なり。前日は白煙平常より少かりき。
47	2月27日	(北海道) 駒ヶ岳	朝噴煙を見しが、16h頃鎮靜す。
48	6月17日	椴前山	13h40m爆發し、後合せて6回爆發す。札幌地方に降灰あり。
49	6月21日	椴前山	23h45m(?)爆發。
50	6月23日	椴前山	同じく4h30m。
51	6月26日	燒岳	昨年10月來休止中の所、鳴動噴煙を開始し、7月に入るも連日多少の噴煙ありて8月2日迄繼續す。21h43m~23h30m, 31日11h54m~17h45m迄松本に降灰す。
52	7月11日 13日 14日 15日 20日	霧島山	本月1日鳴動及び急激なる上下震動ありしが、此の日9h頃轟然たる音響と共に大噴煙をなし、其の後大小の鳴動絶えず。登山者一名死亡す。13日18h30mより約7分間霧島方向に砲聲の如き音響あり。14日19h40mより1分間間歇的鳴動あれど濃霧の爲噴煙を見ず。15日6h頃より7h頃迄鳴動數回あり。20日12h50m白煙の噴出するを見る。
53	7月29日	椴前山	21h53m噴火爆發す。同刻突然地震を感じ暫時にして音響(ドツドン)あり、猛烈なる黒煙を見る。苫小牧町に於ても鳴動及び地震を感じ、火煙を見る。降灰は振老、知澤邊附近に到る。
54	2月15日	雷公計島	此の日より爆發。
55	大正13年 7月31日	(渡島國) 駒ヶ岳	8h30m頃より小活動あり。噴煙並びに鳴動ありしが、規模小にして被害なし。
56	9月7日	淺間山	噴煙小活動す。單に煙を噴きたるのみに止る。
57	10月31日	沖繩縣鳩間島 附近の海底	9h30m頃爆發ありし旨大阪商船宮丸船長より報告あり。
58	10月29日	淺間山	15h0mより約1分間、前橋地方に微量の降灰ありしが、淺間山の小活動の爲なるべし。

	噴火の年月日	噴火山名	記
59	11月16日	硫黄岳	11 h 50 m 爆發降灰あり、鳴響と同時に噴煙す。
60	11月17日	硫黄岳	2 h 再び爆發鳴響あり。

大正 14 年以後は氣象要覽の各年の臨時増刊に上記の表の如きものが掲載しあるにより此處には單に概要のみを記す。

大正 14 年 (氣象要覽 652~654 頁) 此の年著るしき火山活動ありしは燒岳のみ。

燒 岳……1月13日, 1月30日, 2月10日, 3月28日, 4月27日, 5月2日, 5月13日, 5月15日, 5月18日, 5月19日, 5月21日, 6月28日, 8月3日, 9月22日, 10月4日, 10月12日, 10月13日, 10月23日, 10月24日(2回), 10月26日, 11月1日, 11月12日, 11月13日(2回), 12月3日, 12月10日, 12月11日, 12月14日, 12月22日, 13月24日(2回), 12月26日, 以上の日に音響, 鳴動, 噴煙降灰等とりどりあり。

大正 15 年 (氣象要覽 731~732 頁)

此の年著るしき火山活動は十勝岳及び椴前山なり。

燒 岳……1月27日。

十 勝 岳……5月7日, 5月13日~17日, 5月24日, (16 h には泥流を流し上畜良野村を襲ひ, 流失家屋 55 戸, 死者 136 人を生ず), 9月8日, 9月10日(2回, 後の場合泥流あり), 12月10日, 12月17日, 12月25日。

椴 前 山……10月19日, 10月24日, 10月30日。

アリューシャン列島ボゴスロフ島 8月19日 (海底噴火)

昭和 2 年 (氣象要覽 876~878 頁)

此の年の著るしき火山活動は十勝岳なり。

十 勝 岳……1月12日, 1月15日, 1月16日, 1月17日, 1月20日, 1月21日, 1月22日, 1月24日, 1月26日(2回), 1月27日, 1月29日, 2月6日, 2月8日, 2月9日, 2月11日, 2月12日(2回), 3月6日, 4月2日, 4月5日, 4月7日, 4月8日, 4月9日。

燒 岳……4月23日。

雌阿寒岳……4月25日, 5月9日~5月10日, 5月11日。

北黄硫岳……9月10日。

淺 間 山……10月12日, 12月7日, 12月29日。

昭和 3 年 (氣象要覽 835~836 頁)

今年中にて著るしい火山活動は淺間山なり。

椴 前 山……1月4日, 1月7日(2回)。

淺 間 山……2月23日, 6月20日, 7月7日, 7月12日, 7月14日。

千島芙蓉山……2月14日。

駒ヶ嶽……3月28日。

阿 蘇 山……1月12日, 9月6日, 10月11日。

昭和 4 年 (氣象要覽 943 頁)

駒ヶ嶽……6月17日。

淺 間 山……9月18日。

昭和 5 年 (氣象要覽 1306~1307 頁)

此の年著るしき火山活動は淺間山なり。

松輪島(千島列島)……2月13日。

淺間山……4月17日, 4月18日, 4月19日, 6月11日, 7月16日, 8月8日, 8月10日(2回), 8月12日, 8月14日(2回), 8月18日, 8月20日, 9月4日(2回), 9月5日, 9月9日, 9月10日, 9月12日, 10月17日。

阿蘇山……9月3日。

昭和 6 年 (氣象要覽 1847~1850 頁)

此の年著るしき火山活動は淺間山と口永良部島の新岳(鹿兒島)の大爆發なり。

口永良部島新岳(鹿兒島)……4月2日(降石, 降灰も猛烈であつたが西方山腹は土砂崩壊の爲 20米内外の厚に埋められ, 損害額約 30000 圓, 負傷者 2 名を出す)。

淺間山……3月31日, 5月15日, 6月22日, 6月23日, 6月26日, 6月28日, 6月29日, 7月8日, 8月1日, 8月4日, 8月5日, 8月6日(3回), 8月7日, 8月8日, 8月9日, 8月10日, 8月11日, 8月12日, 8月14日, 8月15日, 8月16日, 8月17日, 8月18日(2回), 8月19日, 8月20日(2回), 8月22日, 8月27日, 8月29日, 8月31日, 9月2日, 9月3日, 9月4日, 9月5日, 9月6日, 9月13日, 10月21日, 10月23日, 12月8日(3回)。

硫黄岳……6月18日, 6月23日, 6月24日。

樽前山……10月11日, 10月24日。

昭和 7 年 (氣象要覽 1934~1935 頁)

此年中の著るしい火山活動は淺間山なり。

淺間山……2月15日, 2月18日, 2月24日, 3月2日, 3月11日, 3月18日, 3月25日, 4月1日~6日, 5月5日, 5月11日, 5月28日, 5月29日, 6月4日, 6月5日, 6月24日, 6月28日, 7月3日, 9月下旬, 10月屢々。

硫黄岳(燒岳)……2月6日。

阿蘇山……6月27日, 6月28日。

口永良部島……7月23日頃。

駒岳(秋田)……7月25日, 7月26日頃。

白根山(草津)……10月1日, 11月斷續。

昭和 8 年 (氣象要覽 1509 頁)

阿蘇山……2月中旬~2月下旬。

口永良部島……12月24日(死者 8 名, 負傷者 17 名餘, 全潰家屋 14 戸, 其の他山林耕地に大被害)。

昭和 9 年 (氣象要覽 1014 頁) 此の年は一般に平靜なれど, 硫黄島の海中噴火は甚し。

淺間山……1月9日。

鳥島火山……5月。

霧島山新燃岳……7月25日。

硫黄島海中噴火……9月19日。

阿蘇山……12月16日, 12月19日, 12月26日。